

2. 環境目的・目標の計画と実績

(1) 2007年度の実績と評価

環境管理活動上、電力所が重点的に取り組むべき課題に対して、目的・目標を定め環境活動に取り組んでいます。

2007年度EMS目標の取り組み結果

計画			結果	備考
項目	目標値	実施方法		
事務所内電力使用量の削減	1999年実績から22%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯 ・冷暖房の温度設定(冷房28℃、暖房19℃) ・空調運転停止時間の管理 ・不使用OA機器の電源断の実施(平日、週末電源断対象機器の明確化) ・省エネ標語類の設置 ・執務室他不要蛍光灯の間引き ・時間外の適正実施、管理 ・自動点灯スイッチの導入拡大 ・空調効率UP対策の実施(夏場のブラインド運用、エアコン吹出し口調整) 	1999年実績から21.7%削減	ほぼ目標達成
事務所活動における紙の使用量削減	2002年実績から28%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷、両面コピーの徹底 ・コピー後の設定リセットによるミスコピー防止 ・印刷前のプレビューによるミスプリント防止 ・コピー用紙のA4サイズ統一 ・ミスコピー用紙の裏面活用 ・プロジェクターの活用(会議における紙の使用量削減) 	2002年実績から28.4%削減(参考)1999年実績から45%削減	目標達成
一般廃棄物の削減及び再資源化の推進	発生量5,000kg以下 リサイクル率80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミ分別の徹底 ・生ゴミ処理機の使用 ・現場一般廃棄物の処理適正化 ・リサイクル可能物品の抽出、明示 	発生量4617kg リサイクル率74.8%	一部目標未達
環境に優しい行動の積極的推進	34点/人 (環境活動をポイント化)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい行動の実施(ポイント設定項目) 電力所周辺3S活動 徒歩、自転車での通勤 私有車運転時の省エネ運転 植樹、清掃等環境活動への参加 不法投棄ゴミ発見時の通報 割り箸リサイクル活動 など 	38.6点/人	目標達成
溢水電力*に繋がる事故障害件数の低減	2003年~2005年の平均から10%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・設備懸案事項の計画的な解消 ・水車発電機巡視の強化(異常の早期発見、対応) ・チェックリスト等による施工不具合の撲滅 ・再発防止、水平展開の確実な実施(検討体制、原因究明方法等の整備) 	2003年~2005年の71%削減	目標達成
オフィスクリーンの推進	平均85点以上 (チェックリストによる点数化)	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスクリーン定着化に向けた取組み(チェックリストを用いた実施状況確認) ・文書電子化の推進 ・発電所書類、倉庫の整理(チェックリストを用いた整理状況確認) 	92.5点	目標達成

なお、「社用車の燃費向上」など活動が定着したものについては、特に目標値は定めず、「維持運用活動」として継続して取り組むこととしています。

*事故や作業などにより発電機を停止した場合、発電可能な水が河川にあるにもかかわらず、発電に使用されない(資源を有効に利用しない)ことになります。このとき使用されなかった水量を溢水(いっすい)といい、その溢水に相当する仮の発電電力を溢水電力といいます。

(2) 2008年度の計画

2008年度の計画は以下のとおりとしました。

2008年度EMS目標

計画（ ____は新規取り組み）			備考
項目	目標値	実施方法	
事務所内電力使用量の削減	1999年実績から24%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯 ・冷暖房の温度設定（冷房28℃、暖房19℃） ・空調運転停止時間の管理 ・不使用OA機器の電源断の実施（平日、週末電源断対象機器の明確化） ・省エネ標語類の設置 ・執務室他不要蛍光灯の間引き ・時間外の適正実施、管理 ・自動点灯スイッチの導入拡大（別館への導入） ・空調効率UP対策の実施（夏場のブラインド運用、エアコン吹出し口調整） 	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
事務所活動における紙の使用量削減	2002年実績から34%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷、両面コピーの徹底 ・コピー後の設定リセットによるミスコピー防止 ・印刷前のプレビューによるミスプリント防止 ・コピー用紙のA4サイズ統一 ・ミスコピー用紙の裏面活用 ・プロジェクターの活用（別館会議室のLAN活用）（会議における紙の使用量削減） 	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
一般廃棄物の削減及び再資源化の推進	発生量4,100kg以下 リサイクル率80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミ分別の徹底 ・生ゴミ処理機の使用 ・現場一般廃棄物の処理適正化 ・リサイクル可能物品の抽出、明示 	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
設備懸案事項の計画的な解消	計画懸案の100%解消	<ul style="list-style-type: none"> ・懸案事項解消のための作業計画作成 ・計画懸案の確実な実施 ・新規発生懸案の対策時期検討 ・緊急対応を要す新規設備懸案の迅速な処理 ・環境負荷の低減の着実な推進（石綿削減、油レス化推進等） 	新規（取り組み内容見直し）
環境に優しい行動の積極的推進	36点/人（環境活動をポイント化）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい行動の実施（ポイント設定項目） 電力所周辺3S活動 徒歩、自転車での通勤 私有車運転時の省エネ運転 植樹、清掃等環境活動への参加 不法投棄ゴミ発見時の通報 割り箸リサイクル活動 ペットボトル蓋リサイクル活動 環境家計簿（エコファミリー）データ入力 など 	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む
オフィスクリーンの推進	平均93点以上（チェックリストによる点数化）	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスクリーン定着化に向けた取り組み（チェックリストを用いた実施状況確認） ・文書電子化の推進 ・発変電所書類、倉庫の整理（チェックリストを用いた整理状況確認） 	目標を上方修正のうえ、継続して取り組む